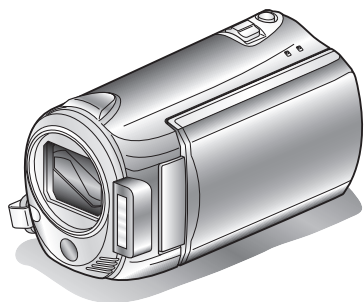
LYT2180-001B-M

ビデオカメラ

型名 **GZ-HM570**

基本取扱説明書

Everio

お買い上げありがとうございます。
ご使用の前に、「安全上のご注意」（ P.2）および「使用上のご注意」（ P.32）を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。
本製品には、「基本取扱説明書（本書）」と「Web ユーザーガイド」があります。

Web ユーザーガイド	いろいろな場面での撮影のしかたや便利な機能について、すべての内容を説明しています。 ■ **パソコンから下記アドレスにアクセスする** http://manual.jvc.co.jp/c0s5/lyt2119-001jp

※ JVC は日本ビクターのグローバルブランドです。

安全上のご注意

ご使用になる方やほかの人々への危害や損害を防ぐために、必ず守っていただきたいことを説明しています。

絵表示の説明

注意、警告が必要なこと	禁止されていること	実行して欲しいこと
一般的注意 感電注意	禁止 分解禁止 ぬれ手禁止 水場での使用禁止	一般的指示

万一異常が発生したときは

- 煙が出ている、異臭がする
- 内部に水や物などが入った
- 落下などにより破損した
- 電源コードが痛んだ

バッテリーをはずす
電源プラグをコンセントから抜く
そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
販売店に修理を依頼してください。
お客様による点検、整備、修理は危険です。

⚠ 危険 「死亡、または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される」内容を示してします。

バッテリー・電池について、次のような誤った取り扱いはしない

禁止

- プラス（＋）とマイナス（－）のまちがい
- 金属物（ネックレス、ヘアピンなど）といっしょに携帯・保管する
- 分解、加工、加熱および水中もしくは火中に入れる
- 高温（60℃以上）になる場所に置く

・誤った使いかたをすると、液漏れ、発熱、発火、破裂などでけがや火災の原因となります。万一、液漏れしたら、取り付け部をよくふいてください。
・液漏れしたバッテリー・電池は使わないでください。
・液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。
・液が目に入ったときは、きれいな水でよく洗い、ただちに医師に相談してください。
・バッテリーを持ち運ぶときは、端子部に金属が触れないようにビニール袋に入れて保管してください。
・幼児の手の届くところには置かないでください。

禁止 **変形や破損したバッテリーは、そのまま放置したり使用をしないで処分する**
・そのまま放置したり使用すると、液漏れ、発熱、発火、破裂などでけがや火災の原因となります。（バッテリーの処分方法については32ページをご覧ください。）

⚠ 警告 「死亡、または重傷を負うことが想定される」内容を示しています。

禁止 **内部に物を入れない**
・SDカードスロットなどから内部に物が入ると、火災や感電、故障の原因になります。

禁止 **レンズを直射日光などに向けない**
・集光により、内部部品が破損、過熱し、火事や故障の原因になります。

禁止 **乗り物を運転中に使用しない**
・交通事故の原因になります。

水場での使用禁止 **雨や雪の降る屋外や浴室などの湿度の多い場所で使用しない**
・本機の上に、水や液体が入った容器などを置かないでください。
・水や液体が内部に入ると、火災や感電を引き起こす原因になります。

警告 「死亡、または重傷を負うことが想定される」内容を示しています。

分解・改造をしない
・火災や感電の原因になります。

付属のACアダプター以外は使用しない
・火災や感電、故障の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む
・ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。

電源プラグは抜き差ししやすいコンセントに差し込む
・本機に異常が発生したときに、ただちに電源プラグが抜けるようにしてください。

電源コードを傷つけない
・痛んだまま使用すると、火災や感電の原因になります。

電源プラグやコンセントに、ほこりや金属が付着したまま使用しない
・ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
・感電の原因になります。

雷がなったら、電源プラグには触らない
・感電の原因になります。

ACアダプターや機器を接続するときは、電源を切る
・電源を入れたまま接続すると、感電や故障の原因になります。

注意 「人が障害を負ったり、物的損害が想定される」内容を示しています。

一般的指示

5年に1度は内部の点検を販売店に相談する
・湿気の多くなる梅雨期のまえが効果的です。

病院内や飛行機内での使用は、病院、航空会社の指示に従う
・本機の電磁波が計器類に影響するおそれがあります。

グリップベルトをゆるんだまま使用しない
・落下によるけがや故障の原因になります。
　また、お子様は大人と一緒にお使いください。

三脚を確実に取り付ける
・落下などによるけがや故障を防ぐため、お使いの三脚の説明書をご覧になり、
　しっかりと取り付けてください。

移動するときは電源プラグや接続コード類をはずす
・コードを傷つけると、火災や感電の原因になります。

一般的指示

長時間使用しないときやお手入れをするときには、電源プラグやバッテリーをはずす
・電源が「切」でも機器に電気が流れています。電源プラグやバッテリーを
　はずしてください。感電の原因になります。

湿気や砂ぼこりの多いところ、湯気や油煙が直接あたるところでは、使用しない
・火災や感電、故障の原因になります。

熱源の近くでは、使用しない
・火災や故障の原因になります。

もくじ

▶一歩進んだ使いかたを知りたいときは

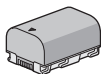
パソコンで見る「Web ユーザーガイド」を使って、使いかたを調べてみましょう。

■ **パソコンから下記アドレスにアクセスする**

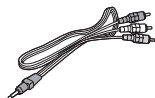
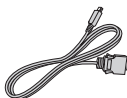
http://manual.jvc.co.jp/c0s5/lyt2119-001jp

付属品を確認する

AC アダプター
AP-V30※

バッテリーパック
BN-VG114

ワイヤレスリモコン
RM-V760U

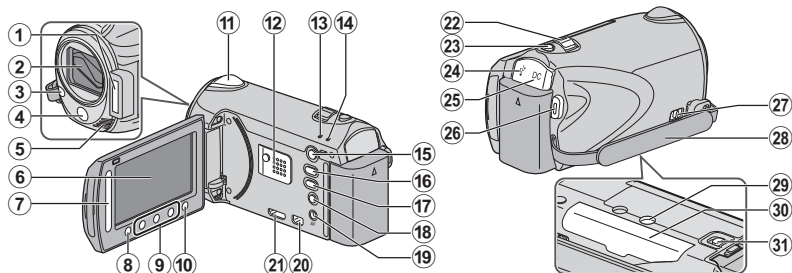
専用 USB ケーブル
（A タイプ－ミニ B タイプ）

AV コード

専用 D 端子ケーブル

CD-ROM

基本取扱説明書
（本書）

- SD カードは別売です。本機で使えるカードの種類については、 P.11 をご覧ください。

※ 海外で AC アダプターを使うときは、訪問国や地域に合った市販の変換プラグをご用意ください。

各部のなまえとはたらき

① フラッシュ

② レンズ／電動レンズカバー

③ ライト

④ リモコン受光部

⑤ ステレオマイク

⑥ 液晶モニター
開閉すると、電源を入/切できます。

⑦ スライダー
画像や項目を選びます。

⑧ OK ボタン
選んだ画像や項目を決定します。

⑨ 操作ボタン
機能によって操作ボタンが異なります。

⑩ Menu（メニュー）ボタン（ P.25）

⑪ Bluetooth（ブルートゥース）アンテナ

⑫ スピーカー

⑬ ACCESS（アクセス）ランプ
記録中や再生中に点灯/点滅します。

⑭ POWER/CHARGE（電源/充電）ランプ（ P.6）

⑮ ▶（再生）ボタン
撮影と再生を切り換えます。

⑯ 🎥 / 📷（動画/静止画）ボタン
動画/静止画を切り換えます。

⑰ UPLOAD/EXPORT（アップロード/iTunes 転送）ボタン
撮影：YouTube や iTunes 用の動画を撮ります。
再生：YouTube や iTunes 用の動画に変更します。

⑱ ⏻（電源/情報）ボタン
撮影：残量時間や連続撮影時のバッテリー残量を表示します。
再生：ファイル情報を表示します。
長押しすると、液晶モニターを開いたまま、電源を入/切できます。

⑲ AV 端子（ P.15、20）

⑳ COMPONENT (コンポーネント)端子 (P.14)

㉑ HDMI ミニ端子(P.14)

㉒ ズーム／音量レバー（ P.9、 P.13）

㉓ SNAPSHOT（静止画 撮影）ボタン（ P.10）

㉔ USB 端子（ P.17、24）

㉕ DC 端子（ P.6）

㉖ START/STOP（動画 録画）ボタン（ P.9）

㉗ グリップベルト取りはずしレバー

㉘ グリップベルト（ P.6）

㉙ 三脚取り付け穴

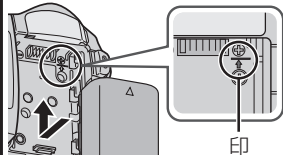
㉚ SD カードスロット（ P.11）

㉛ バッテリー取りはずしレバー（ P.6）

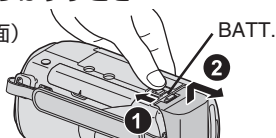
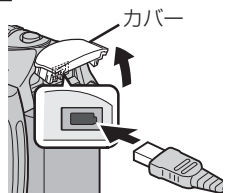
バッテリーを充電する

1 バッテリーを取り付ける

※ ご購入時のバッテリーは、充電されていません。

印

● 本体の印とバッテリー上部を合わせて、「カチッ」と音がするまでスライドします。

2 DC端子につなぐ

カバー

ACアダプター

3 コンセントにつなぐ

充電ランプ

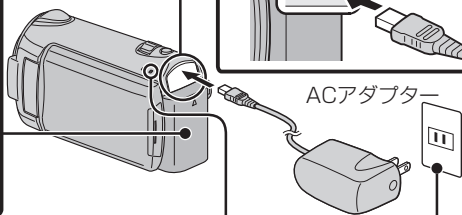
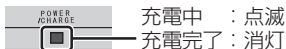
POWER /CHARGE

充電中　：点滅
充電完了：消灯

■ 取りはずすとき

（底面）

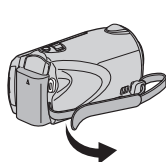
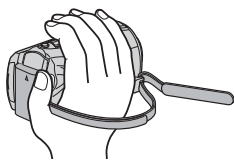
BATT.

❶ ❷

ご注意

必ずビクター製のバッテリーをお使いください。

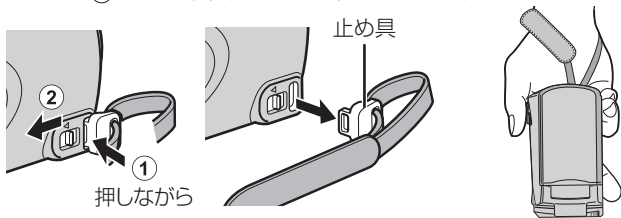
- ビクター製以外のバッテリーをご使用の場合は、安全面、性能面について保証いたしかねます。
- 充電時間：約 2 時間 30 分（付属バッテリーの場合）

※ 25℃で使用したときの時間です。室温 10℃ ～ 35℃の範囲外の場所では、充電に時間がかかったり、充電できないことがあります。
低温など、使用状態によって撮影・再生可能時間は短くなります。

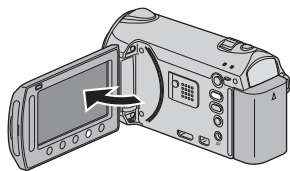
グリップベルトを調節する

① ベルトをめくる

② 長さを調節する

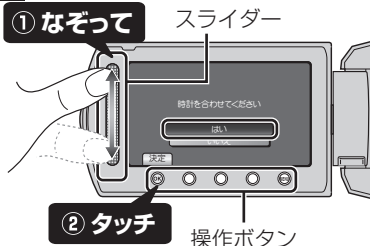
③ ベルトをしめる

ハンドストラップとして使う

ストラップをはずして、手首を通してください。
① を押しながら、② をスライドすると、ストラップがはずれます。

- ハンドストラップを取り付けるときは、止め具を「カチッ」と音がするまで差し込みます。

時計を合わせる

1 液晶モニターを開く

- 本体の電源が入ります。液晶モニターを閉じると、電源が切れます。

2 "時計を合わせてください"が表示されたら、"はい"を選んで、OK をタッチする

- 選ぶときは、スライダーをなぞり、操作ボタンを軽くタッチして決定します。

3 日時を設定する

- スライダーで、年、月、日、時、分を合わせます。
- 操作ボタンの「←」/「→」をタッチすると、カーソルを移動できます。

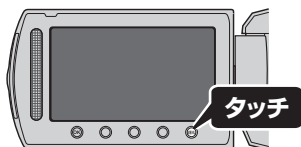
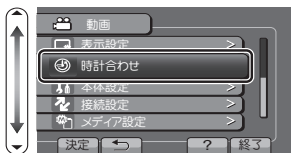
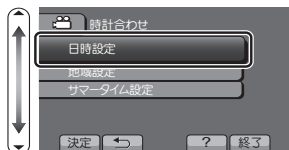
4 日時設定が終わったら、OK をタッチする

5 お住まいの地域を設定して、OK をタッチする

- 都市名と時差が表示されます。

■ 時計を合わせ直すときは

メニューの"時計合わせ"から時計を合わせてください。

① メニューを表示する

② "時計合わせ"を選んで、Ⓞ をタッチする

③ "日時設定"を選んで、Ⓞ をタッチする

- 以降の設定のしかたは、前ページの手順 3〜5 と同じです。

お知らせ

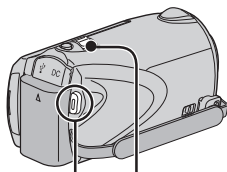
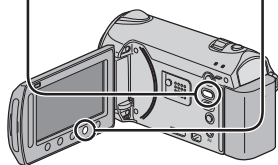
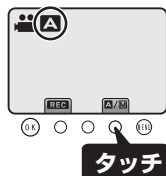
- 画面周囲のボタンやスライダーは、指でタッチしてください。
- 爪や手袋などでは操作できません。
- 画面内の表示に触れても動作しません。
- 長期間使用しないと"時計を合わせてください"が表示されます。
  24 時間以上充電してから、時計を設定してください。（ P.6）

動画を撮る

オートで撮影すれば、細かい設定を気にせずに気軽に撮影できます。
大切な撮影をする前には、試し撮りすることをおすすめします。

1 動画を選ぶ

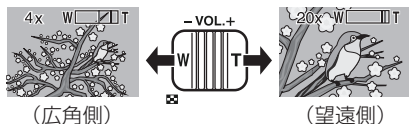
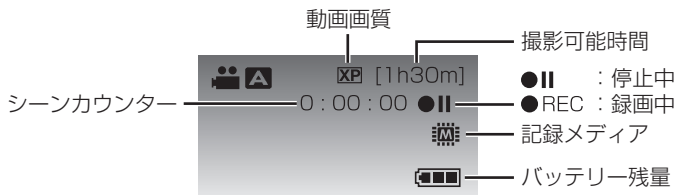
2 撮影モードが A オートか確認する

- M マニュアルになっているときは、A/M ボタンをタッチして切り換えます。
- タッチするたびに、オートとマニュアルが切り替わります。

3 撮影する

- もう一度押すと、停止します。

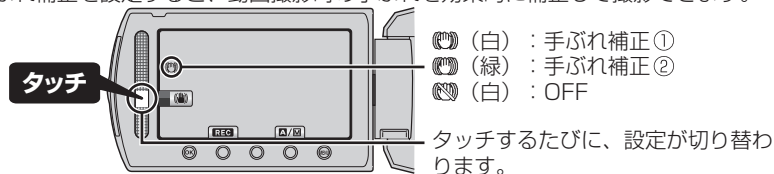
ズームを使う

（広角側）

（望遠側）

■ **動画撮影中の表示**

お知らせ

- 撮影時間の目安は、付属のバッテリーで約 45 分です。（ P.30）

手ぶれを補正して撮る（動画撮影のみ）

手ぶれ補正を設定すると、動画撮影時の手ぶれを効果的に補正して撮影できます。

① 通常モード　　：手ぶれを補正します。
② アクティブモード：明るいシーンを広角側で撮影する場合に、より手ぶれ補正の効果を発揮します。※広角側(〜5 倍)のみ

お知らせ

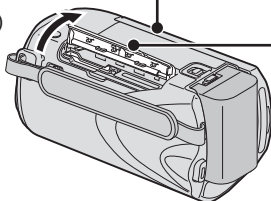
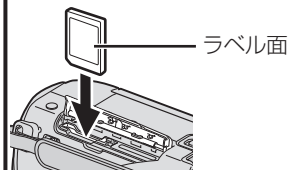
- 三脚などに固定して動きの少ない被写体を撮影したい場合は、"OFF"にすることをおすすめします。
- 手ぶれが大きいときは、補正しきれないことがあります。

静止画を撮る

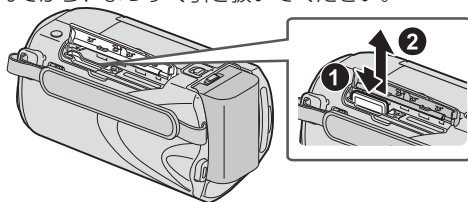
■ **静止画撮影中の表示**

SDカードに記録するには

市販のSDカードを入れておくと、内蔵メモリーの撮影可能時間がいっぱいになっても、撮影を止めずにカードに記録できます。

※ カードに記録するには、メディアの設定が必要です。（P.12）
カードがない場合は、メディア設定を"内蔵メモリー"にして撮影してください。

※ カードの抜き差しは、本体の電源を切った状態で行ってください。

■ **取り出すとき**

カードを一度押し込んでから、まっすぐ引き抜いてください。

お知らせ

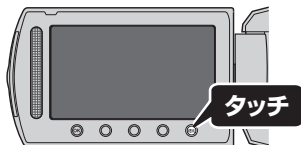
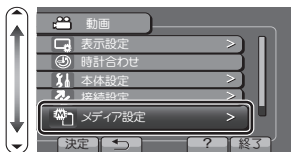
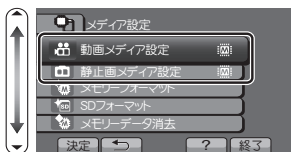
次のSDカードで動作を確認しています。

メーカー名	パナソニック(Panasonic)、東芝(TOSHIBA)、サンディスク(SanDisk)、ATP
動画	Class 4以上対応のSDHCカード（4 GB～32 GB）（画質"UXP"で撮影するときは、Class6を推奨）
静止画	SDカード（256 MB～2 GB）、またはSDHCカード（4 GB～32 GB）

- 上記以外のカードでは、正しく記録できなかったり、データが消えたりすることがあります。

■ SD カードを使うときは

メディア設定の"動画メディア設定"または"静止画メディア設定"を"ＳＤカード"に変更すると、カードを使って記録や再生ができます。

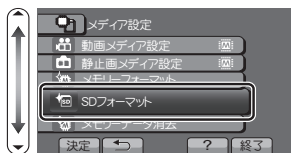
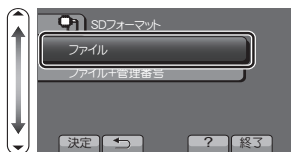
① MENU をタッチして、メニューを表示する

② "メディア設定"を選んで、OK をタッチする

③ "動画メディア設定"または"静止画メディア設定"を選んで、OK をタッチする

④ "ＳＤカード"を選んで、OK をタッチする

■ ほかの機器で使っていた SD カードをはじめて使うときは

メディア設定の"ＳＤフォーマット"でカードをフォーマット（初期化）します。フォーマットすると、カード内のデータはすべて消えます。フォーマットする前に、カード内のすべてのファイルをパソコンなどにコピーしてください。

① MENU をタッチして、メニューを表示する

② "メディア設定"を選んで、OK をタッチする

③ "ＳＤフォーマット"を選んで、OK をタッチする

④ ファイルを選んで、OK をタッチする

⑤ "はい"を選んで、OK をタッチする

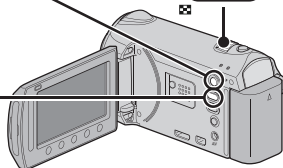
⑥ フォーマットが終わったら、OK をタッチする

本機で映像を見る/削除する

撮影した動画や静止画を一覧表示（サムネイル表示）から選んで再生します。
メディア設定（P.12）で設定しているメディアの内容が一覧表示されます。

1 再生モードにする

2 動画または静止画を選ぶ

動画再生中に音量を調節する

3 映像を再生する

● 停止するときは、■ をタッチします。

■ 不要な映像を削除するには

● 確認メッセージが出たら、「はい」を選んで、OK をタッチします。

■ 再生の 1 コマを静止画にするとき

一時停止中に SNAPSHOT ボタンを押します。

■ 再生中に使える操作ボタン

画面表示	動画再生中	静止画再生中
▶ / ❚❚	再生/一時停止	スライドショー開始/一時停止
■	停止（サムネイルに戻る）	停止（サムネイルに戻る）
▶▶❚	次の動画に進む	次の静止画に進む
❚◀◀	シーンの先頭に戻る	前の静止画に戻る
▶▶	早送り	－
◀◀	早戻し	－
❚▶	一時停止中にコマ送り	－
◀❚	一時停止中にコマ戻し	－

テレビで映像を見る

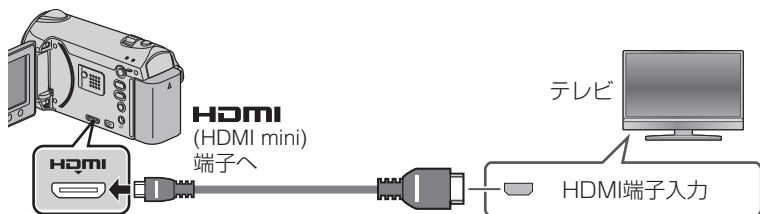
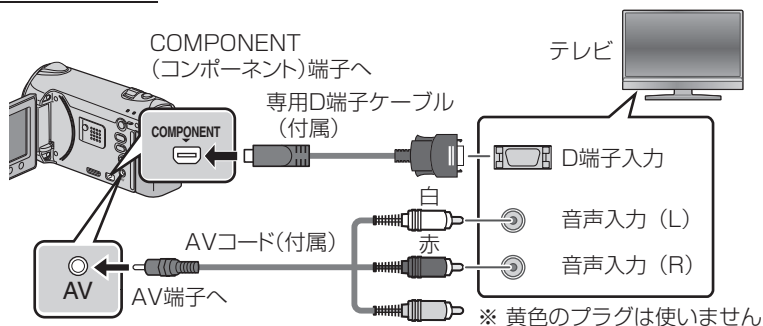
1 テレビに接続する

※ テレビの取扱説明書もご覧ください。

- 電源ボタン（⏻）を 2 秒以上押して、電源を切ってください。

■ **ハイビジョン画質で再生するとき**

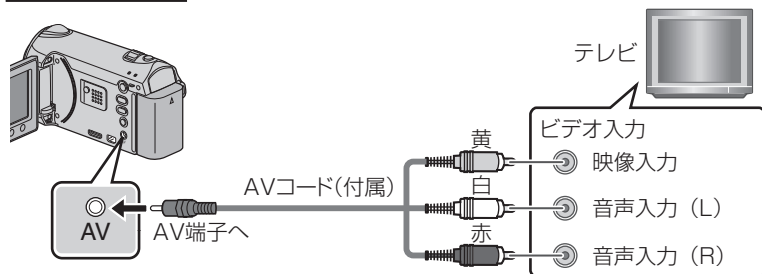
ハイビジョンテレビをお使い場合は、本機の HDMI 端子に接続するとハイビジョン画質で再生することができます。

HDMI 端子でつなぐ

D 端子でつなぐ

お知らせ

- テレビに関する質問や接続方法については、テレビの製造元にお問い合わせください。
- HDMI mini ケーブルは、High Speed HDMI Cable（カテゴリ 2 ケーブル）をお使いください。
- D3/D4 端子に接続するときは、接続設定メニューの"コンポーネント出力"を"D3"に変更してください。（ P.28） "D1"のままだと、標準画質で出力されます。

■ **標準画質で再生するとき**

従来のテレビをお使いの場合は、AV 端子に接続すると、標準画質で見ることができます。

AV 端子でつなぐ

2 AC アダプターをつなぐ(P.6)

- AC アダプターを接続すると自動で電源が入ります。

3 テレビの入力切換を選ぶ

4 映像を再生する(P.13)

■ **日時などを表示して再生したいときは**

接続設定メニューの"テレビ表示"を"入"に変更してください。(P.28)

また、再生メニューの"画面表示"を"すべて表示"または"日付のみ表示"にしてください。(P.27)

■ **テレビの表示が不自然なときは**

テレビに正常に表示されない	● ケーブルを抜き差ししてください。 ● 本機の電源を入れ直してください。
テレビに縦長に映る	● 接続設定メニューの"ビデオ出力"を"4:3"に変更してください。(P.28)
テレビに横長に映る	● テレビ側で画面を調整してください。
不自然な色で映る	● メニューの"x.v.Color"(P.26)を"入"にして撮影したときは、テレビ側の x.v.Color 設定を「入」にしてください。 ● テレビ側で画面を調整してください。

いろいろな保存のしかた

本機は、いろいろな機器とつないでディスク作成や保存ができます。

使用する機器	標準画質		ハイビジョン画質			参照ページ
	VHS	DVD	AVCHD DVD	Blu-ray Disc	HDD	
DVD ライター	−	○	○	−	−	P.17
外付型ブルーレイドライブ	−	○	○	○	−	P.17
ブルーレイレコーダー	−	※1	※1	※1	※1	−
DVD レコーダー	※1	○	−	−	※1	P.20
ビデオデッキ	○	−	−	−	−	P.20
外付型ハードディスク	−	−	−	−	○	P.21
パソコン	−	※2	※2	※2	○	P.22

※1　お使いの機器によって保存のしかたやディスクの作りかたが異なります。詳しくは、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

※2　パソコンを使ったディスクの作りかたについて、詳しくは Web ユーザーガイドをご覧ください。

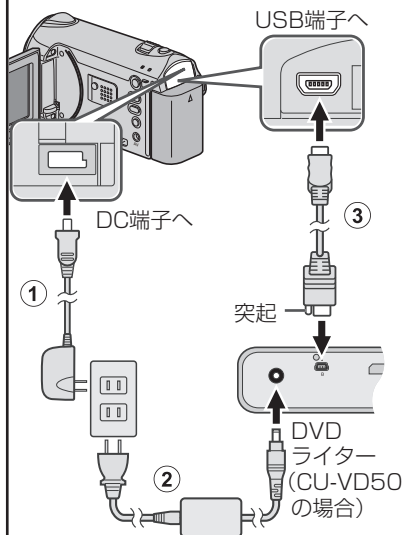
お知らせ

- 外付型ブルーレイドライブ、または外付型ハードディスクの最新情報については、下記のホームページをご覧ください。

I-O DATA 社： http://www.iodata.jp/everio/
ビクター： http://www.victor.co.jp/dvmain/

DVD ライターや外付型ブルーレイドライブでディスクを作る

1 液晶モニターを閉じてから、接続する

① 本機に AC アダプターをつなぐ
② DVD ライターに AC アダプターをつなぐ
③ DVD ライター付属の USB ケーブルをつなぐ

※ DVD ライターや外付型ブルーレイドライブの取扱説明書もご覧ください。

2 DVD ライターまたは外付型ブルーレイドライブの電源を入れ、新しいディスクを入れる

3 液晶モニターを開く

- 本体の電源が入り、バックアップメニューが表示されます。
- USB ケーブルをつないでいる間は、バックアップメニューが表示されます。

■ 作成したディスクを再生するには

AVCHD 対応機器（ブルーレイレコーダーなど）で再生できます。

■ 対応する DVD ライター

- CU-VD50
- CU-VD3

■ 対応する外付型ブルーレイドライブ

I-O DATA（アイ・オー・データ機器）社の BRD-UH8 または BRD-UH8S をお使いください。
外付型ブルーレイドライブを接続するには、下記の USB ケーブルをお買い求めください。（本機に付属する USB ケーブルは使用できません）

- I-O DATA 製：USB-MAB/100
  ミニ A（オス）ー B(オス)

外付型ブルーレイドライブに同梱の USB ケーブルを使うときは、延長 USB ケーブルをお買い求めください。

- ミニ A（オス）ー A（メス）
  （ビクターサービス扱い：QAM0852-001）

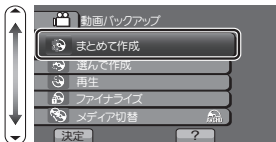
※ 同梱の青い紙の「ビクターサービス窓口案内」に記載されている最寄りの「ご相談窓口」にお問い合わせください。

お知らせ

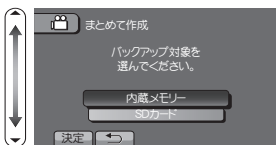
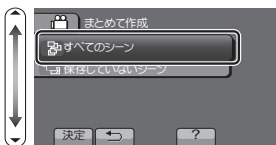
- ディスクに記録できる時間は、撮影のしかたによって変化します。
- 本機との接続中は、DVD ライター（CU-VD50）のボタンのうち、電源ボタンと取り出しボタン以外は、機能しません。

まとめて保存する

動画または静止画モードを選びます。

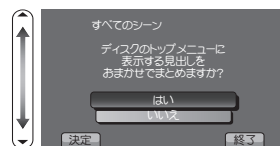
1 "まとめて作成"（動画）または"まとめて保存"（静止画）を選んで ⓞⓚ をタッチする

"メディア切替"を選ぶと、保存するディスクを変更できます。（詳しくは、Web ユーザーガイドをご覧ください）

- "ＢＤ"を選ぶと、ハイビジョン画質のままブルーレイディスクに保存できます。（外付型ブルーレイドライブのみ）
- "ＤＶＤ(ＡＶＣＨＤ)"を選ぶと、ハイビジョン画質のまま DVD に保存できます。
- "ＤＶＤ−Ｖｉｄｅｏ"を選ぶと、標準画質に変換して DVD に保存できます。

2 保存するメディアを選ぶ

3 作成方法を選んで、ⓞⓚ をタッチする

"すべてのシーン"（動画）/
"すべての画像"（静止画）：
本機内にあるすべての動画、または静止画を保存します。
"保存していないシーン"（動画）/
"保存していない画像"（静止画）：
一度も保存していない動画、または静止画をまとめて保存します。

4 "作成する"を選んで、ⓞⓚ をタッチする

必要なディスクの枚数

5 どちらかを選んで、ⓞⓚ をタッチする

"はい"　：撮影日時が近い動画をまとめた見出しにします。
"いいえ"：撮影日単位でまとめた見出しにします。

6 "作成する"を選んで、ⓞⓚ をタッチする

- 「次のディスクを入れてください」と表示されたときは、新しいディスクに入れ替えてください。

7 作成が終わったら、ⓞⓚ をタッチする

8 液晶モニターを閉じてから、USB ケーブルを抜く

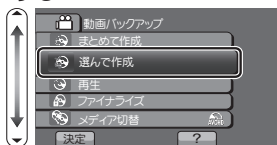
■「ファイナライズしますか？」と表示されたとき

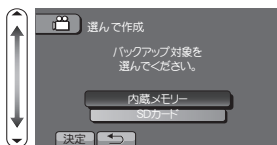
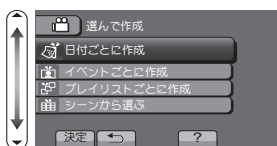
本体設定メニュー"自動ファイナライズ"（P.28）が"切"のときに表示されます。

- ほかの機器で再生するときは"はい" を選び、ⓞⓚ をタッチします。
- DVD に追記する予定があるときは "いいえ"を選び、ⓞⓚ をタッチします。

選んで保存する

動画または静止画モードを選びます。

1 "選んで作成"（動画）または"選んで保存"（静止画）を選んで ㊉ をタッチする

"メディア切替"を選ぶと、保存するディスクを変更できます。(P.18 または Web ユーザーガイドをご覧ください)

2 保存するメディアを選ぶ

3 作成方法を選んで、㊉ をタッチする

"日付ごとに作成"（動画）/
"日付ごとに保存"（静止画）：
撮影した日付ごとに動画、または静止画をまとめて保存します。 ➡A へ
"イベントごとに作成"（動画のみ）※：
登録したイベントごとに動画をまとめて保存します。
"プレイリストごとに作成"（動画のみ）※：
作成したプレイリストを選んで保存します。

※ 詳しくは、Web ユーザーガイドをご覧ください。

"シーンから選ぶ"（動画）/
"画像から選ぶ"（静止画）：
保存したい動画、または静止画を選んで保存します。 ➡B へ

A 日付ごとに作成/日付ごとに保存

① 撮影日を選んで、㊉ をタッチする

- 選んだ日付のファイルをだけを保存します。
- 以降の操作のしかたは、前ページの手順 4～8 と同じです。

B シーンから選ぶ/画像から選ぶ

① ファイルを選ぶ

- ㊉（✓）をタッチすると、チェックマークが付きます。

② ファイルを選び終わったら、"保存"をタッチする

- 以降の操作のしかたは、前ページの手順 4～8 と同じです。

■ 作ったディスクを確認するとき

手順 1 で"再生"を選びます。

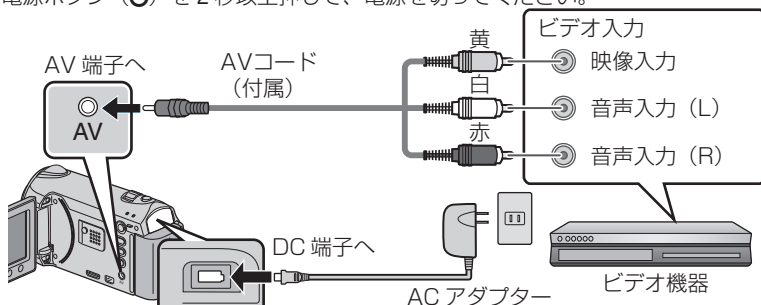
ご注意

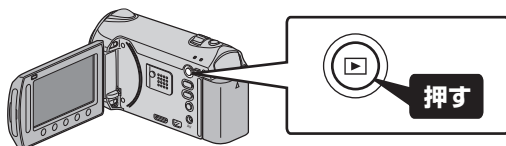
- 作成が終わるまで、電源を切ったり、USB ケーブルを取りはずしたりしないでください。
- 動画と静止画は同じディスクに保存できません。
- 再生時に一覧表示されないファイルは、保存できません。

DVD レコーダーやビデオデッキにつないでダビングする

DVD レコーダーやビデオデッキに接続して、動画を標準画質でダビングできます。
テレビや DVD レコーダー、ビデオデッキなどの取扱説明書もご覧ください。

1 ビデオ機器に接続する

- 電源ボタン（⏻）を 2 秒以上押して、電源を切ってください。

- AC アダプターを接続すると自動で電源が入ります。

2 再生モードにする

3 録画の準備をする

テレビ・ビデオ機器の準備

- 対応する外部入力に切り換えます。
- DVD-R やビデオテープなどを入れます。

本機の準備

- 接続設定メニューの"ビデオ出力"を接続するテレビの画面比（4:3 または 16:9）に合わせます。（P.28）
- 日付も一緒にダビングしたいときは、接続設定メニューの"テレビ表示"を"入"にします。（P.28）また、再生メニューの"画面表示"を"日付のみ表示"にしてください。（P.27）

4 録画を開始する

- 本機で動画を再生（P.13）し、ビデオ機器の録画ボタンを押してください。
- 再生が終わったら、録画を停止してください。

外付型ハードディスクに保存する

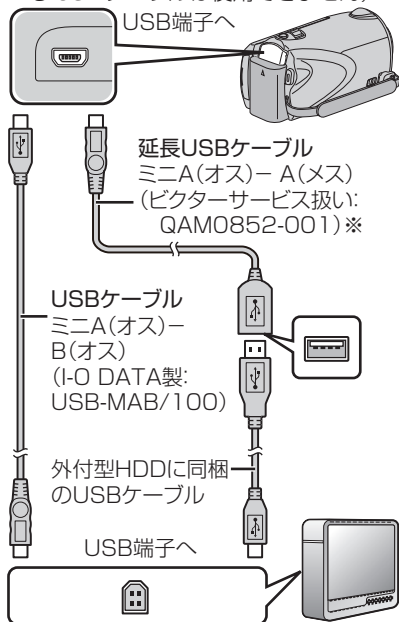
市販の外付型ハードディスク（以下、外付型 HDD）に動画や静止画を保存したり、本機で再生したりできます。

※ 外付型 HDD の取扱説明書もご覧ください。

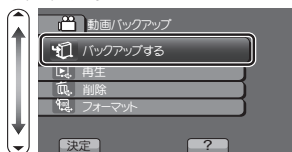
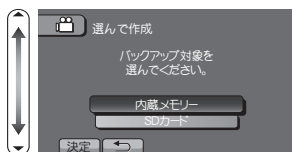
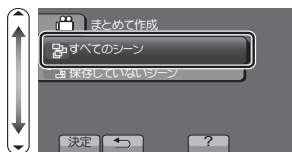
■ 対応する外付型 HDD

I-O DATA（アイ・オー・データ機器）社の HDCN-UA シリーズをお使いください。2 TB を超える HDD は使用できません。

■ 対応する USB ケーブル

図のいずれかの市販の USB ケーブルをお買い求めください。（本機に付属する USB ケーブルは使用できません）

※ 同梱の青い紙の「ビクターサービス窓口案内」に記載されている最寄りの「ご相談窓口」にお問い合わせください。

動画または静止画モードを選びます。

1 "バックアップする"を選んで、Ⓞⓚ をタッチする

2 保存するメディアを選ぶ

3 保存方法を選んで、Ⓞⓚ をタッチする

"すべてのシーン"（動画）/
"すべての画像"（静止画）：
本機内にあるすべての動画、または静止画を保存します。

"保存していないシーン"（動画）/
"保存していない画像"（静止画）：
一度も保存していない動画、または静止画をまとめて保存します。

4 バックアップを開始する

- 空き容量を確認してから、"ＯＫ"を選んで、Ⓞⓚ をタッチします。

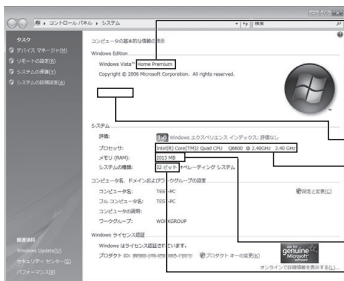
■ 保存したファイルを再生するには

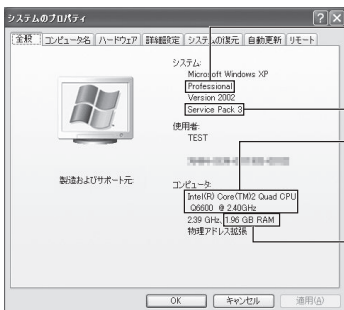
手順 1 で"再生"を選びます。
外付型 HDD の動画、または静止画を本機で再生できます。

パソコンに保存する

パソコンの性能（目安）を確かめる

Windows パソコンをお使いのかたは
付属ソフトを使って、パソコンに映像を保存できます。
スタートメニューのコンピュータ（またはマイコンピュータ）を右クリックし、プロパティを選んで次の項目を確認してください。

■ Windows 7 / Windows Vista の場合

- Windows 7
  Home Premium（プリインストール版のみ）
  Windows Vista
  Home Basic または Home Premium
  （共にプリインストール版のみ）
- Service Pack 2（Windows Vistaのみ）
- **プロセッサ**：
  Intel Core Duo CPU 1.66 GHz以上
  （Intel Core 2 Duo 2.13 GHz以上推奨）
- **メモリー**：2 GB 以上
- **システムの種類**：32 ビット/64ビット

■ Windows XP の場合

- Windows XP
  Home Edition または Professional
  （共にプリインストール版のみ）
- Service Pack 3
- **プロセッサ**：
  Intel Core Duo CPU 1.66 GHz以上
  （Intel Core 2 Duo 2.13 GHz以上推奨）
- **メモリー**：1 GB 以上

■ そのほかの条件

ディスプレイ：1024×768 ピクセル以上（1280×1024 ピクセル以上を推奨）
グラフィック：Intel G965 以上を推奨

お知らせ

- 上記の条件を満たしていないパソコンでは、付属ソフトを使用できません。
  DVD ライター（別売）のご利用をおすすめします。
- 付属ソフトでは、静止画をディスクに記録できません。
- 詳しくは、パソコンの製造元にお問い合わせください。

Macintosh パソコンをお使いのかたは

アップル社の iMovie'08、'09（動画）または iPhoto（静止画）を使って、パソコンにファイルを取り込みます。
パソコンの性能を確認するには、アップルメニューから「この Mac について」を選んでください。OS のバージョン、プロセッサ、搭載メモリーを確認できます。

- iMovie または iPhoto の最新情報については、アップル社のホームページをご覧ください。
- iMovie と iPhoto の操作については、それぞれのソフトのヘルプをお読みください。
- すべての環境で動作を保証するものではありません。

付属ソフトをインストールする

付属のソフトを使って、撮影した映像をカレンダー型式で表示したり、簡単な編集をすることができます。

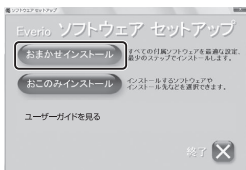
1 付属の CD-ROM をパソコンにセットする

（Windows 7 / Windows Vista のみ）

① 自動再生画面で"INSTALL.EXE の実行"をクリックする。

② ユーザーアカウント制御画面で"続行"をクリックする。

- しばらくすると"ソフトウェアセットアップ"が表示されます。
- 表示されないときは、マイコンピュータのなかの CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

2 "おまかせインストール"をクリックする

- 以後、画面の指示に従ってインストールしてください。

3 "完了"をクリックする

4 "終了"をクリックする

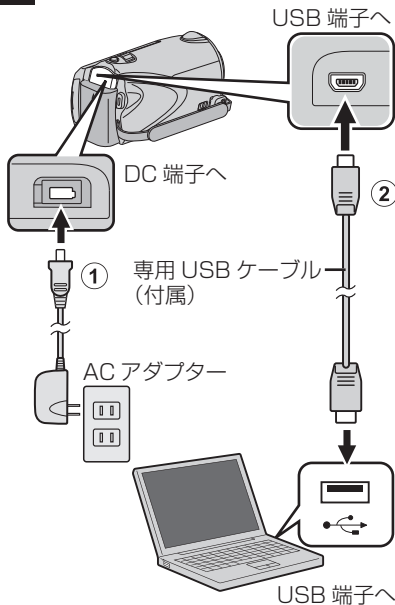
- Everio MediaBrowser のインストールが終了し、ディスクトップにアイコンが表示されます。

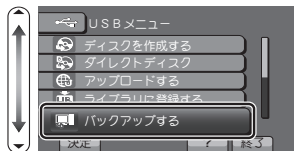
お知らせ

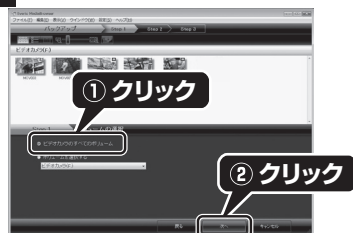
Web ユーザーガイドをご覧になるには、インターネットに接続して手順 2 で"ユーザーガイドを見る"をクリックしてください。

すべてのファイルをバックアップする

バックアップする前に、パソコンの HDD に十分な空き容量があることを確認してください。

1 USB ケーブルと AC アダプターを接続する

2 液晶モニターを開く

3 "バックアップする"を選んで、OK を タッチする

- パソコンで付属ソフトの Everio MediaBrowser が立ち上がります。
以降の手順は、パソコンで操作します。

4 ボリュームを選ぶ

5 バックアップを開始する

ファイルの保存先（パソコン）

6 バックアップが終わったら、"OK" をクリックする

付属ソフト **Everio MediaBrowser** の操作などで困ったときは、裏表紙の「ピクセラ ユーザーサポートセンター」へご相談ください。

■ 本機をパソコンから取りはずすとき

① "ハードウェアの安全な取り外し"をクリックする

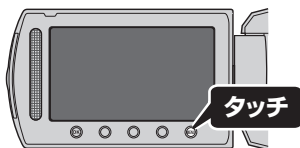
② "USB 大容量記憶装置～"をクリックする

③ （Windows Vista の場合）"OK"をクリックする

④ USB ケーブルをパソコンから取りはずし、本機の画面を閉じる

メニューの使いかた

メニューを使ってさまざまな設定ができます。

1 メニューを表示する

- お使いのモードによって表示されるメニューが異なります。

2 設定したいメニューを選んで、OK をタッチする

3 設定を変更して、OK をタッチする

■ 設定を終了するとき

「MENU（終了）」をタッチします。

■ 一つ前の画面に戻るとき

「⮌」をタッチします。

■ ヘルプを表示するとき

「?」をタッチします。

- ヘルプの表示がない場合があります。

設定メニュー一覧

■ 動画撮影メニュー※

マニュアル設定

撮影の設定を手動で設定できます。（マニュアル撮影時のみ表示されます）

➡ マニュアル撮影モードに変更するには（P.9）
➡ マニュアル設定メニュー（P.26）

顔優先ＡＥ／ＡＦ

人物の顔に枠が付きフォーカスと明るさが自動的に調節されます。

ライト

ライトの点灯/消灯を設定します。

イベント登録

動画撮影前に登録すると、イベント（旅行、運動会など）に分類できます。

動画画質

動画画質を設定します。

ズーム倍率

ズームの最大倍率を設定します。

感度アップ

暗いところで自動的に明るく調節します。（静止画とは別に設定できます）

高速撮影

撮影速度を上げて撮影し、スローモーションの動画を撮影します。

タイムラプス撮影

一定間隔に 1 コマずつ撮影して、長い時間かけてゆっくり移り変わるシーンを短時間で再生することができます。

フレームイン REC

液晶画面に表示される赤枠内の被写体の動き（明るさ）の変化を感知して、自動的に撮影開始および撮影停止をします。

シームレス撮影

記録メディアの空き容量がなくなったときに、記録メディアを切り替えて撮影を続けます。

シャッターモード

連写を設定できます。

x.v.Color

より忠実に色を記録します。
（再生するときは、x.v.Color 対応テレビをお使いください）

ウィンドカット

風の音を低減します。

時計合わせ

現時刻を修正したり、海外で使うときに合わせ直します。

■ 静止画撮影メニュー ※

マニュアル設定

撮影の設定を手動で設定できます。
（マニュアル撮影時のみ表示されます）

➡ マニュアル撮影モードに変更するには（P.9）
➡ マニュアル設定メニュー（P.26）

顔優先ＡＥ／ＡＦ

人物の顔に枠が付きフォーカスと明るさが自動的に調節されます。

フラッシュ

フラッシュを発光するか設定します。

セルフタイマー

記念撮影するときに使います。

シャッターモード

連写を設定できます。

静止画サイズ

記録する静止画の大きさ（ピクセル数）を設定します。

静止画画質

静止画画質を設定します。

感度アップ

暗いところで自動的に明るく調節します。（動画とは別に設定できます）

フレームイン REC

液晶画面に表示される赤枠内の被写体の動き（明るさ）の変化を感知して、自動的に静止画の撮影をします。

時計合わせ

現時刻を修正したり、海外で使うときに合わせ直します。

M マニュアル設定メニュー

シーンセレクト

状況に合わせた撮影ができます。
ナイトアイ：周囲が薄暗いと、自動的に感度を上げて明るくします。
夜景：夜景を自然な感じに撮影できます。
ポートレート：背景をぼかして、人物を浮かび上がらせます。
スポーツ：動きの速いものを 1 コマ 1 コマ鮮明に撮影できます。
スノー：晴れた日の雪原などで、被写体が暗く映ることを防ぎます。
スポットライト：ライトの中の人物が明るくなりすぎないようにします。

フォーカス

手動でピント合わせできます。

フォーカスアシスト

ピント合わせを簡単にするため、ピントが合っている画像の輪郭線を色にします。

明るさ補正

画面全体の明るさを補正します。
（動画と静止画で別々に設定できます）

シャッタースピード

シャッタースピードを調節できます。
（動画と静止画で別々に設定できます）

ホワイトバランス

光源に合わせて、色合いを調節できます。

逆光補正

逆光で被写体が暗くなるのを補正します。

測光エリア

明るさの基準を測るエリアを設定します。

エフェクト

白黒映像やセピア色などの効果を付けて撮影します。
（動画と静止画で別々に設定できます）

テレマクロ

ズームの望遠（T）側のときに接写できるようになります。

※「表示設定」、「本体設定」、「接続設定」、「メディア設定」の項目は、 P.28 をご覧ください。

- 詳しい設定内容については、Web ユーザーガイドをご覧ください。
- 2 階層目の項目は、1 階層目にある項目を選ぶと、表示されます。
- メニューの使いかたは、 P.25 をご覧ください。

■ 動画再生メニュー ※

削除

不要な動画を削除します。

ピクチャータイトル

作成したプレイリストにピクチャータイトルを付けられます。

検索

グループ、撮影日、イベントのいずれかで、一覧表示する動画を絞り込みます。

プレイリスト再生

プレイリストを再生します。

プレイリスト編集

プレイリストを作成または編集します。

特殊ファイル再生

管理情報を修復した動画ファイルなどを再生します。

編集

コピー：
別のメディアにコピーします。
ムーブ：
別のメディアに移動します。
プロテクト/解除：
誤消去防止のプロテクトを付けます。
分割：
動画を任意の場所で、前半と後半の 2 つに分けます。
トリミング：
動画から必要な部分をコピーし、新しい動画として保存します。
イベント変更：
一度記録したイベントを変更します。

シームレス撮影管理

シームレス撮影した別々のメディアに分かれているシーンの結合/解除をします。

ワイプ/フェーダー

映像の始まりと終わりに効果をつけます。

画面表示

再生中の表示内容を切り替えます。

時計合わせ

現時刻を修正したり、海外で使うときに合わせ直します。

■ 静止画再生メニュー ※

削除

不要な静止画を削除します。

日付検索

撮影日から、一覧表示する静止画を絞り込みます。

編集

コピー：
別のメディアにコピーします。
ムーブ：
別のメディアに移動します。
プロテクト/解除：
誤消去防止のプロテクトを付けます。

スライドショー効果

スライドショーの切り替え効果を設定します。

画面表示

再生中の表示内容を切り替えます。

静止画転送

接続設定メニュー「Buletooth」で設定した対応機器に撮影した静止画を転送します。

時計合わせ

現時刻を修正したり、海外で使うときに合わせ直します。

※「表示設定」、「本体設定」、「接続設定」、「メディア設定」の項目は、 P.28 をご覧ください。

表示設定メニュー

LANG.／言語
メニューなどで表示する言語を設定します。

日付表示配列
年月日の並び順と、時間表示（24h／12h）を設定します。

モニター明るさ調整
画面の明るさを調整します。

モニターバックライト
モニターのバックライトを設定します。

アシストカラー
マニュアル設定メニューの「フォーカスアシスト」を使うときに、ピントの合った被写体の輪郭線が、設定した色で表示されます。

本体設定メニュー

連写スピード
連写の速度を設定します。

デモモード
本機の機能のデモを再生できます。

オートパワーオフ
電源の切り忘れ防止のため、5 分放置でバッテリー使用時は電源を切り、AC アダプター使用時は待機状態になります。

操作音
操作時に音を鳴らすか設定します。

録画ボタン
画面に「録画」ボタンを表示し、START/STOP ボタンの代わりに使うことができます。

高速起動
5 分以内に再び画面を開くと、すぐに起動できます。

リモコン
リモコンで操作できるようにします。

自動ファイナライズ
作成する DVD を対応機器で再生できるように自動的にファイナライズします。

ファームウェア更新
本機の機能を最新版に更新できます。

工場出荷
すべての設定をお買い上げ時の設定に戻します。

接続設定メニュー

Bluetooth
Bluetooth 対応のヘッドセットや GPS レシーバー、携帯電話などの機器を本機に登録して無線接続できます。
Bluetooth についての詳しくは、Web ユーザーガイドをご覧ください。

Bluetooth マイク音声
Bluetooth に対応したヘッドセットのマイクを使用できます。

テレビ表示
テレビで再生するときに、アイコンや日時を表示できます。

ビデオ出力
接続するテレビに合わせて画面比（16:9 または 4:3）に設定します。

コンポーネント出力
テレビの D 端子に接続するときに、D 端子の種類を設定します。

HDMI 出力
テレビの HDMI 端子に接続するときに、本機の HDMI 端子の出力を設定します。

HDMI 機器制御
HDMI CEC 規格に対応するテレビと連動します。

メディア設定メニュー

動画メディア設定
動画を記録/再生するメディアを設定します。

静止画メディア設定
静止画を記録/ 再生するメディアを設定します。

メモリーフォーマット
内蔵メモリーのファイルをすべて消去（初期化）します。

SD フォーマット
SD カードのファイルをすべて消去（初期化）します。

メモリーデータ消去
本機を廃棄または譲渡するときに実行します。

撮影時間/枚数の目安

動画の撮影可能時間や撮影時間は、⏻（電源/情報）ボタンを押すと確認できます。

動画の撮影可能時間の目安

画質	内蔵メモリー（64 GB）	SDHC カード			
		4 GB	8 GB	16 GB	32 GB
UXP	5 時間 54 分	21 分	44 分	1 時間 29 分	2 時間 58 分
XP	8 時間 20 分	31 分	1 時間 2 分	2 時間 5 分	4 時間 12 分
SP	11 時間 49 分	43 分	1 時間 28 分	2 時間 58 分	5 時間 57 分
EP	29 時間 33 分	1 時間 49 分	3 時間 41 分	7 時間 26 分	14 時間 53 分

- 撮影時間は目安です。撮影するシーンによって短くなる場合があります。

静止画の撮影可能枚数の目安（単位：枚）

画像サイズ	画質モード	SDHC カード				内蔵メモリー（64 GB）
		4 GB	8 GB	16 GB	32 GB	
3520×2640 (4 : 3)	ファイン	940	1900	3800	7690	9999
	スタンダード	1460	2940	5890	9999	9999
3072×2304 (4 : 3)	ファイン	1230	2490	4980	9999	9999
	スタンダード	1960	3960	7920	9999	9999
2592×1944 (4 : 3)	ファイン	1740	3500	7000	9999	9999
	スタンダード	2720	5490	9999	9999	9999
1600×1200 (4 : 3)	ファイン	4440	8950	9999	9999	9999
	スタンダード	7500	9999	9999	9999	9999
640×480 (4 : 3)	ファイン	9999	9999	9999	9999	9999
	スタンダード	9999	9999	9999	9999	9999
3520×1984 (16 : 9)	ファイン	1250	2510	5030	9999	9999
	スタンダード	1960	3960	7920	9999	9999
3072×1728 (16 : 9)	ファイン	1660	3350	6710	9999	9999
	スタンダード	2610	5250	9999	9999	9999
2592×1456 (16 : 9)	ファイン	2260	4560	9120	9999	9999
	スタンダード	3530	7100	9999	9999	9999
1920×1080 (16 : 9)	ファイン	4140	8330	9999	9999	9999
	スタンダード	6310	9999	9999	9999	9999
1280×720 (16 : 9)	ファイン	8570	9999	9999	9999	9999
	スタンダード	9999	9999	9999	9999	9999

撮影時間の目安（バッテリー使用時）

バッテリー	実撮影時間	連続撮影時間
BN-VG114	45 分	1 時間 20 分
BN-VG121	1 時間 10 分	2 時間 5 分

- "ライト"が"切"、"モニターバックライト"が"標準"のときの値です。
- 実撮影時間は、ズームの使用や、撮影と停止の繰り返しなどで短くなります。（撮影予定時間の約 3 倍分を用意することをおすすめします）
- 充分に充電しても、撮影時間が短くなったときはバッテリーの寿命です。（新しいものに交換してください）

故障かな！？と思ったら

修理を依頼する前に、もう一度、以下の表および Web ユーザーガイドの「困ったときは」をご確認ください。それでも不具合があるときは、お買い上げ店、またはビクターサービス（裏表紙参照）にお問い合わせください。
なお、ビクターホームページ（http://www.victor.co.jp/）から最新の製品 Q&A 情報をご覧いただけます。

■ 本機はデジタル機器のため、静電気や妨害ノイズなどによりエラー表示や正常に動作しないことがあります

そのときは下記の手順で本機をリセットしてからお使いください。

① 電源を切る。（液晶モニターを閉じる）

② 電源（バッテリーと AC アダプター）をいったん取りはずす。

こんなときは…

	こんなときは	ここを確かめてください	参照ページ
電源	画面を閉じると電源/充電ランプが点滅する	• バッテリーの充電中です。	P.6
撮影中	撮影できない	• 🎥/📷 ボタンを確認してください。 • ▶ ボタンで撮影モードにしてください。	P.9 P.13
撮影中	勝手に撮影が停止した	• 電源を切り、しばらく経ってから電源を入れてください。（本機の温度が上がると、回路の保護のため自動的に停止します） • 12 時間連続撮影すると撮影が停止します。	- -

再生	日時表示がでない	• 再生メニュー"画面表示"を設定してください。	P.27
	音や映像が途切れる	• シーンとシーンのつなぎ部分で途切れることがありますが、故障ではありません。	-
その他	充電中、ランプが点滅しない	• バッテリー残量を確認してください。(バッテリーが満充電されていると、ランプが点滅しません) • 低温や高温の環境で充電しているときは、許容動作温度の範囲内の環境で充電してください。(範囲外の環境では、バッテリー保護のため充電を中止することがあります)	P.9 P.6
	スライダーや操作ボタンがきかない	• 手袋などをはずしてください。 • 指で触れて操作してください。(爪やペン先などでは、操作できません)	- -
	本機が熱くなる	• 故障ではありません。(長時間使用すると、本機が多少熱くなることがあります)	-

こんな表示がでたら…

こんな表示がでたら	ここを確かめてください	参照ページ
内蔵メモリーへ記録できませんでした/ カードへ記録できませんでした	• 本機の電源を入れ直してください。 • 上記の操作で解決しないときは、バックアップをとってから、メディア設定メニューの"メモリーフォーマット"または"ＳＤフォーマット"を実行してください。(データはすべて消えます。)	- -
未対応のシーンです （動画）/ 未対応のファイルです（静止画）	• 本機で記録したファイルを使ってください。(他機で記録したファイルは、再生できないことがあります。本機で記録したファイルの場合、ファイルが壊れています)	-
撮影したデータをパソコンやディスクなどにこまめに保存してください	• パソコンと接続してデータを保存してください。	P.24
撮影データが少ないため保存できません	• 実記録時間の表示が「0:00:00:17」以下のときに撮影を停止すると、動画を保存できません。	-

使用上のご注意

- 精密機械ですので、落下や振動・衝撃を与えないでください。
  記録や再生ができなくなります。
- 本機、バッテリーなどを、直射日光や火などの過度な熱にさらさないでください。
  内部の電池やバッテリーは、高温になると、破裂することがあります。
- 撮影したデータはパソコンやDVDなどに保存してください。
  データが失われた際、弊社では一切の責任を負いかねますので、パソコンやDVD などに定期的に保存することをおすすめします。
- データ流出によるトラブルを回避するには、市販のデータ消去ソフトを使ってデータを完全に消去するか、SDカードを金槌などによって物理的に破壊することをおすすめします。
  この処理は、お客様の責任において行ってください。
  万一、個人データが漏洩した場合、当社は一切の責任を負いかねます。

バッテリーの処分について

バッテリーを処分する際は、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。
安全のため、端子部にセロハンテープなどを貼ってください。
お問い合わせ：有限責任中間法人 JBRC http://www.jbrc.net/hp/

美しい環境維持にあなたも一役。リサイクルに協力しましょう。
ご使用済みの電池は廃棄しないで、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

著作権について

- 録画・撮影・録音したもの、付属のソフトウェアで編集したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。特に音楽 CDをBGM とするムービーを編集する場合は、音楽CD の複製と同様の制限が生じますのでご注意ください。
- 鑑賞・興行・展示物など、個人として楽しむ目的でも撮影を制限している場合があるので、ご注意ください。

イラスト・画面表示について

本書に描かれているイラスト・画面表示は、わかりやすくするために誇張・省略があります。また、改良のため予告なく変更されることがあります。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
VCCI-B

認定機器について

本製品には、電波法及び電気通信事業法に基づく小電力データ通信システムの無線局として、工事設計認証を受けた無線設備を内蔵しています。
無線設備名：201WW07215204
したがって、本製品をしようするときに無線局の免許は必要ありません。
ただし、以下の事項をおこなうと法律により罰せられることがあります。

- 本製品を分解/改造すること。

他の無線機器との干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。
本機の使用周波数は2.4 GHz帯です。
この周波数帯では電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または本機の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、日本ビクターお客様ご相談センター（保証書、取扱説明書に記載）までお問い合わせください。

2. 4 FH 1

2.4：2.4GHz帯を使用する無線設備を表します。
FH ：FH-SS方式を表します。
1 ：想定される干渉距離が10m以下を表します。

他社製品の登録商標と商標について

- AVCHDとAVCHDロゴは、パナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- x.v.Colorと x.v.Color は商標です。
- HDMI（High-Definition Multimedia Interface）と HDMI HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE は、HDMI Licensing, LLC の商標です。
- 本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
- Dolby、ドルビーとダブル D 記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- YouTube と YouTube ロゴは、YouTube LLC. の商標および商標登録です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- iPod、iTunesは、米国およびその他の国で登録された米国Apple,Inc. の商標です。
- Intel Core、Pentium、Celeronは、米国Intel Corporation の商標または登録商標です。
- BluetoothとBluetoothロゴは、Bluetooth SIG. Inc. の登録商標です。

その他、記載している会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TM マークと ® マークを明記していません。

仕様

カメラ本体

電源	AC アダプター使用時：DC 5.2 V バッテリー使用時：DC 3.6 V
消費電力	3.2 W （"ライト"が"切"、"モニターバックライト"が"標準"の場合）
外形寸法（mm）	55×62×110（幅×高さ×奥行き:グリップベルトを含まず）
質量	約 260 g（本体のみ）、約 300 g（付属バッテリー含む）
動作環境	許容動作温度：0℃～ 40℃、許容保存温度：－20℃～50℃ 許容相対湿度：35%～ 80%
映像素子	1/2.3 型 1062 万画素（CMOS）
撮像エリア(動画)	565 万画素（光学ズーム）、 207 万～565 万画素（ダイナミックズーム）
撮像エリア(静止画)	929 万画素（4：3）、698 万画素（16：9）
レンズ	F2.8 ～ F4.5、f=6.7 mm ～ 67.0 mm （35 mm カメラ換算　動画：48.3 mm ～ 483 mm、 静止画： 39.9 mm ～ 399 mm）
ズーム(動画)	光学ズーム：等倍～ 10 倍 ダイナミックズーム：～ 16 倍（手ぶれ補正 OFF）、～ 15 倍（手ぶれ補正アクティブモード） デジタルズーム：～ 200 倍
ズーム(静止画)	光学ズーム：等倍～ 10 倍
動画記録画素	1080/60i （画面比 16:9）
動画記録方式	AVCHD 規格準拠、映像：MPEG-4 AVC/H.264、 音声：Dolby Digital 2ch
静止画記録方式	JPEG 準拠
記録メディア	内蔵メモリー（64 GB）、SD/SDHC カード（市販）
時計用電池	二次電池

AC アダプター（AP-V30）※

電源	AC 100 V ― 240 V、50 Hz/60 Hz
出力	DC 5.2 V、1.8 A
許容動作温度	0℃～40℃（充電時は 10℃～35℃）
外形寸法（mm）	78×34×46 （幅×高さ×奥行き：コードと AC プラグを含まず）
質量	約 107 g

※ 海外で AC アダプターを使うときは、訪問国や地域に合った市販の変換プラグをご用意ください。

- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがあります。

保証とアフターサービス

修理を依頼される場合（持込修理）

「故障かな！？と思ったら…」（P.30）にしたがって、まずはご確認ください。
ご確認後、なお異常があるときは、電源を切り、必ずバッテリーと AC アダプターを取りはずしてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容

1. 品名：ビデオカメラ
2. 型名：表紙参照
3. お買い上げ年・月・日
4. 故障の状況
5. ご住所・お名前・電話番号

■ 保証期間中は

保証書の規定にしたがって販売店にて修理させていただきます。

■ 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

保証書（別添付）

必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店からお受け取りください。保証期間は、お買い上げ日から 1 年間です。
保証書は大切に保管してください。

性能部品の保有期間

当社は性能部品を製造打ち切り後、8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご相談窓口における
個人情報のお取り扱い

日本ビクター株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

免責事項

- 本機や付属品、SD カードの万一の不具合により、正常に録画や録音、再生ができない場合、内容の補償についてはご容赦ください。
- 商品の不具合によるものも含め、いったん消失した記録内容（データ）の修復などはできません。あらかじめご了承ください。
- 万一、データが消失してしまった場合でも、当社はその責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 品質向上を目的として、交換した不良の記録媒体を解析させていただく場合があります。そのため、返却できないことがあります。

■ 製品についてお困りのことがありましたら・・・

ホームページ情報

製品に関するQ&A、メールによる問い合わせなどは
ビデオカメラサポート情報
http://www.jvc-victor.co.jp/dvmain/support/

付属ソフトEverio MediaBrowserのご相談

ピクセラユーザーサポートセンター

☎ 0570-02-3500
（ナビダイヤルが使用できない場合）
06-6633-2990

ホームページ
http://www.pixela.co.jp/oem/jvc/mediabrowser/j/

取扱い方法などのご相談

お客様ご相談センター

0120-2828-17

- 電話番号を良くお確かめの上、おかけ間違いのないようご注意ください
- 携帯電話・PHSなどからは、次の電話番号をご利用ください
  045-450-8950

修理や付属品購入などのご相談

同梱の青い紙の
「ビクターサービス窓口案内」
に記載されている最寄りの「ご相談窓口」に お問い合わせください

- ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについては、P.35をご覧ください。

製品のサポート情報、イベント情報等の提供サービスなどをご利用いただけます。

http://www.victor.co.jp/reg/

日本ビクター株式会社
〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

© 2010 Victor Company of Japan, Limited

C0S5 0110FOH-SW-VM